学校番号	3003

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「詳述歴史総合　新訂版」　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、内容によっては周りの人と協働で考える活動を行います。
・授業用のファイルを用意してください。また必要に応じて、タブレット端末も使用します。
課題についてまず自分で考えてみましょう。ただ、板書したことやスライドをノートに写すだけでなく、自分で考えたことと史実とのギャップを確認するようにしてください。歴史に対する興味が深まるきっかけとなります。
・プリントは、ファイルに挟んで定期的に提出してもらいます。
・授業中のプリントについては板書やスライドを書き写すだけでは、評価が低くなります。授業のポイントや自身で気付いたことなどをプリントの枠外に記入していきましょう。

・パソコンを準備し、キーワードや疑問を感じた事柄をネット検索して調べるようにしましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】
近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とそのなかの日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。 ○諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	○近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。 ○考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりすることができる。	○近現代の歴史に関わる諸事象について，見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ○よりよい社会の実現を視野に，自身との関わりを踏まえて学習を振り返るとともに，次の学習へのつながり見いだそうとしている。 ○近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。 ○多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章 近代化への胎動	1 江戸時代の日本と東アジア秩序の変動 2 江戸時代の生産・流通と諸改革 3 幕政の改革と東アジア世界	a:１８世紀の日本からみた東アジアの政治・経済と社会を理解することができる。 b:１８世紀とその前後の日本における経済活動の特徴、清などのアジア諸国との関係などを多面的に考察することができる。 c:１８世紀とその前後の日本と周辺地域の動向について興味をもち、日本とアジア諸国との関係を考察しようとしている。	定期考査 単元毎小テスト	定期考査 調べ学習内容	調べ学習態度の観察 提出物
	第2章 欧米の市民革命と「西洋の衝撃」	4 イギリス産業革命とアメリカ独立戦争 5 フランス革命とウィーン体制 6 アメリカ合衆国の発展とラテンアメリカの独立 7 オスマン帝国の衰退とロシア 8 アヘン戦争の衝撃と日本の開国 9 江戸幕府の滅亡	a:ヨーロッパやアメリカ大陸における政治やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、１８世紀とその前後の世界の経済と社会を理解することができる。 b:１８世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸、オスマン帝国でのできごとや影響などに着目して、世界各地域の動向を多面的に考察することができる。 c:１８世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸とアジアとの歴史の変化に関わる諸事情について興味をもち、それらを世界各地域の動向や関係性の考察に活用しようとしている。	定期考査 単元毎小テスト	定期考査 調べ学習内容	調べ学習態度の観察 提出物

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第3章 欧米諸国と日本の国民国家形成	10 イギリス・フランスの繁栄とイタリア・ドイツの統一 11 明治政府の諸改革 12 日本のアジア外交と国境問題 13 自由民権運動と大日本帝国憲法	a:１９世紀後半のヨーロッパと日本の政治と社会を理解することができる。 b:１９世紀後半の欧米諸国が日本に与えた影響などに着目して、１９世紀後半のヨーロッパの動きや日本と欧米諸国との関係などを的確に表現することができる。 c:１９世紀後半のヨーロッパの動きと日本との関連に関わる諸事情について興味をもち、日本と欧米諸国との関係を考察しようとしている。	定期考査 単元毎小テスト	定期考査 調べ学習内容	調べ学習態度の観察 提出物
	ワークシートの提出	近代化と現代的な諸課題 ワークシート課題	a:工業化が人々にもたらした影響や諸問題に関する基本的な事項を理解している。 b:工業化が人々にもたらした影響や諸問題に関する資料から、有用な情報を選択して活用し、自分の考えとしてまとめ、表現している。 c:主体的に資料を読みとき、工業化が人々にもたらした影響や諸問題について考察し、表現している。また、こんにちの富の偏在や貧富の差がもたらしている問題も視野に入れて、学習にとりくんでいる。	ワークシート内容	ワークシート内容	ワークシートの提出

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
2学期	第4章 帝国主義の時代	14 帝国主義の時代へ 15 朝鮮をめぐる国際関係と日清戦争 16 日清戦争後の東アジア 17 日露戦争と東アジアの変動 18 日本の産業革命	a:１９世紀から２０世紀初頭のアジアの経済と社会を理解することができる。 b:１９世紀から２０世紀にかけての欧米諸国の帝国主義が世界に与えた影響などに着目して、アジア諸国と欧米諸国との関係を多面的に考察することができる。 c:帝国主義や日本のアジア進出に関わる諸事象について関心をもち、それらをアジア各地域の関係性や経済活動の特徴についての考察に活用しようとしている。	定期考査 単元毎小テスト	定期考査 調べ学習内容	調べ学習態度の観察 提出物
	第5章 第一次世界大戦と大衆社会	19 第一次世界大戦 20 ロシア革命とソ連の成立 21 米騒動とソ連の成立 22 ヴェルサイユ体制とワシントン体制 23 アジアの民族運動 24 第一次世界大戦後の欧米諸国 25 ひろがる社会運動と普通選挙の実現	a:第一次世界大戦の推移と大戦後の国際秩序の形成について理解することができる。 b:２０世紀初頭から戦間期にかけての日本を中心とする世界的な動きについて、多面的に考察することができる。 c:第一次世界大戦前後の社会の変化について興味をもち、社会の変容と社会運動との関係を考察しようとしている。	定期考査 単元毎小テスト	定期考査 調べ学習内容	調べ学習態度の観察 提出物

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
2学期	第6章 経済危機と第二次世界大戦	26 世界恐慌と各国の対応 27 ファシズムの時代 28 満州事変と軍部の台頭 29 日中戦争と戦時体制 30 第二次世界大戦の勃発 31 第二次世界大戦の終結 32 国際連合の成立と冷戦 33 日本の占領と日本国憲法 34 朝鮮戦争と日本	a:第二次世界大戦へ向かう動きと第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解することができる。 b:世界恐慌やナチス・ドイツ誕生の頃から第二次世界大戦の後の日本の独立回復までの日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について多面的に考察することができる。 c:第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が世界に与えた影響に興味をもち、第二次世界大戦下の社会状況や日本の国際社会への復帰について調べることができる。	定期考査 単元毎小テスト	定期考査 調べ学習内容	調べ学習態度の観察 提出物
	ワークシートの提出	国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	a:大規模な人口移動にともなう諸問題に関する基本的な事項を理解している。 b:大規模な人口移動にともなう諸問題に関する資料から、有用な情報を選択して活用し、自分の考えとしてまとめ、表現している。 c:主体的に資料を読みとき、大規模な人口移動にともなう諸問題について考察し、表現している。また、こんにちの移民・難民の受け入れ問題も視野に入れて、学習にとりくんでいる。	ワークシート内容	ワークシート内容	ワークシートの提出

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
3学期	第7章 冷戦と脱植民地化	35 植民地の独立 36 米ソ両陣営の動揺 37 日本の国際社会復帰と高度経済成長	a:１９５０年代の冷戦期から１９７０年代の石油危機、日本の高度経済成長期がおわるころの日本を中心とする世界的な動きについて理解することができる。 b:冷戦が各国に及ぼした影響に着目して、冷戦下の世界経済や経済成長による生活や社会の変容を多面的に考察することができる。 c:１９５０年代の冷戦期から１９７０年代の石油危機、日本の高度経済成長期がおわるころの日本を中心とする世界的な動きについて関心をもち、経済成長による生活や社会の変容を考察しようとしている。	定期考査 単元毎小テスト	定期考査 調べ学習内容	調べ学習態度の観察 提出物
	第8章 多極化する世界	38 石油危機と世界経済 39 緊張緩和から冷戦の終息へ 40 日本の経済大国化	a:市場経済と冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解することができる。 b:市場経済のグローバル化や冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的に考察することができる。 c:１９７０年代に入り石油危機などが起きたころから２１世紀の現代までの日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について興味をもち、それらを考察しようとしている。	定期考査 単元毎小テスト	定期考査 調べ学習内容	調べ学習態度の観察 提出物

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
3学期	第9章 グローバル化と現代社会	41 地域紛争と対立 42 国際秩序の変容	a:歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解することができる。 b:事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、主題について多面的に考察、構想し、表現することができる。 c:２１世紀に入った日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について興味をもち、それらを現代的な諸課題の解決に活用しようとしている。	定期考査 単元毎小テスト	定期考査 調べ学習内容	調べ学習態度の観察 提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度